

天星製油株式会社

環境経営レポート

第39期 VOL. 20.1

(2022/11/1~2023/10/31)

産廃処理業者向けガイドライン2017準拠



2023年12月28日

目次

1. 組織の概要	3
2. 許認可	5
3. 事業における課題とチャンス	8
4. 環境経営方針	9
5. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果・ 評価.....	10
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 違反、訴訟等の有無.....	16
7. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	17
8. 代表者による全体の評価と見直し・指示	19

<改訂履歴>

VOL. 20.0	2023年11月28日	作成
VOL. 20.1	2023年12月28日	訂正

1. 組織の概要

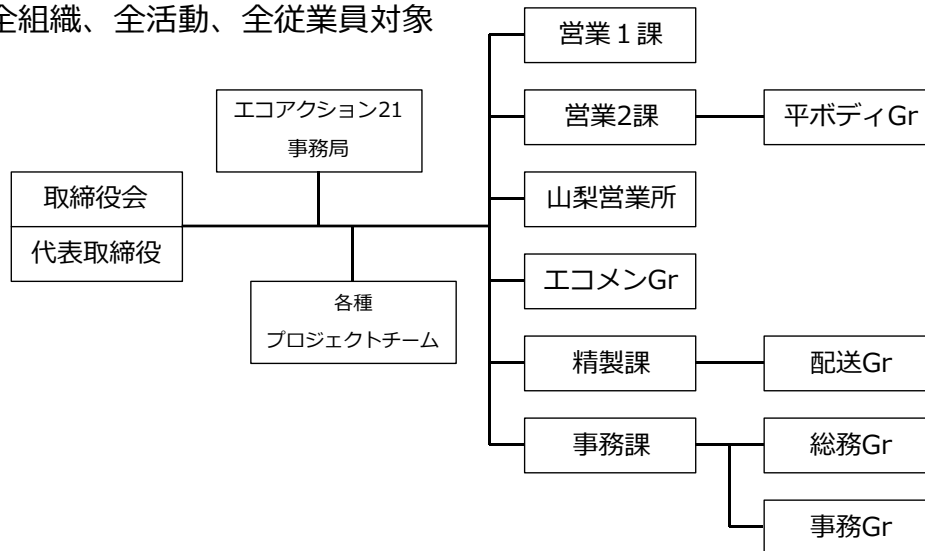
1. 事業所名 天星製油株式会社
2. 代表者名 代表取締役 鈴木宏政
3. 法人設立 1984年11月1日
4. 資本金 1,000万円
5. 事業所
本社 静岡県浜松市浜名区新原 3833-1
山梨営業所 山梨県笛吹市一宮町国分 1284-1
若草油槽所 静岡県浜松市浜名区寺島 652-1
資材置き場 静岡県浜松市浜名区新原 3903
第一駐車場 静岡県浜松市浜名区新原 3927-1,6,7,8
南武事務所 静岡県浜松市浜名区新原 3922-1
6. 連絡先
Tel : 053-586-9911
Fax : 053-586-9915
Mail : entry@tenboshi.com
H P : <http://www.tenboshi.com/>
7. 環境管理責任者 代表取締役 鈴木宏政
8. 事業内容
廃油買取
再生重油・再生潤滑油の委託・再生及び販売
産業廃棄物の処理
(廃油、産廃水、汚泥の収集・運搬及び処分)
メンテナンス事業
(油槽等の清掃、漏洩検査、タンク撤去・設置等)
漏油事故処理
防災用品販売
(吸着マット、土壌処理剤の販売)
一般貨物自動車運送事業
(製品の移送等)

9. 事業の規模

活動項目 (単位)	第36期	第37期	第38期	第39期
	2019年11月 ～2020年10月	2020年11月 ～2021年10月	2021年11月 ～2022年10月	2022年11月 ～2023年10月
従業員数 (人)	53	52	56	58
売上高 (百万円)	730	797	950	1,046
車両台数 (台)	56	56	58	58
油保管容積 (kL)	1,435	1,435	1,435	1,445
敷地面積 (m2)	14,966	14,966	15,740	15,830
床面積 (m2)	970	970	970	1,154
収集・運搬量 (t)	6,484	6,723	6,775	6,992
中間処分量 (t)	6,474	6,709	6,680	7,011

10. 認証・登録範囲

全組織、全活動、全従業員対象



役割	責任及び権限
代表取締役	環境経営方針の設定、環境管理責任者の任命・指示、環境経営目標・環境経営計画・環境経営マニュアルの承認、経営における課題とチャンス の明確化、全体の評価・見直し
環境管理責任者	EA21活動の責任者(事務局内)、EA21職場会議リーダー・事務局員・訓練委員の任命、目標・計画の決定、システムの確立・実施・維持、環境法規制の遵守評価
EA21事務局員	環境経営目標・環境経営計画・環境経営マニュアルの作成、環境負荷及び取り組み状況の把握、環境経営レポート作成、職場会議総括及び基礎資料の作成、EA21リーダー会議企画
EA21職場会議リーダー	職場会議の目標設定・日程調整・進行・取りまとめ、職場会議レポート作成、日常的な取り組みの啓発
訓練委員	訓練の企画・実行・総括、システムの構築、機材の用意
全従業員	環境経営方針の理解、環境経営目標達成のためにP D C Aを回す
職制リーダー	課員がEA21活動を行うための時間、労力を確保できるように配慮する

2. 許認可

1. 産業廃棄物処理業の許可の内容

◆ 収集運搬業

<普通産業廃棄物>

自治体 (◎:優良認定)	許可番号	許可年月日	有効年月日	積替 保管	産業廃棄物の種類					
					廃 油	廃 ア ル カ リ	汚 泥	金 属 く ず	廃 プ ラ ス チ ック 類	廃 酸
静岡県 ◎	第02201002575号	2021年7月31日	2028年7月30日	無	○	○	○	○	○	-
愛知県 ◎	第02300002575号	2023年3月10日	2030年3月9日	無	○	○	○	○	○	-
山梨県 ◎	第01915002575号	2023年8月24日	2030年8月23日	有/無	○	○	○	○	○	-
岐阜県 ◎	第02100002575号	2023年8月29日	2030年8月28日	無	○	○	○	○	○	-
神奈川県 ◎	第01405002575号	2017年6月28日	2024年5月31日	無	○	○	○	○	○	○
東京都	第1300002575号	2019年6月1日	2024年5月31日	無	○	-	-	-	-	-
長野県	第2009002575号	2019年6月13日	2024年6月12日	無	○	○	○	○	○	-
三重県	第02400002575号	2019年8月28日	2024年7月20日	無	○	○	○	○	○	-
滋賀県 ◎	第02501002575号	2020年5月26日	2027年4月27日	無	○	○	○	○	○	-

第40期中に全ての自治体で優良認定を取得予定。

<特別管理産業廃棄物>

自治体 (◎:優良認定)	許可番号	許可年月日	有効年月日	積替 保管	産業廃棄物の種類
					引火性廃油
静岡県 ◎	第02251002575号	2022年4月5日	2029年4月4日	無	○
山梨県 ◎	第01965002575号	2022年8月23日	2029年8月22日	有/無	○
愛知県 ◎	第02350002575号	2022年10月7日	2029年10月6日	無	○
神奈川県 ◎	第01455002575号	2023年6月14日	2030年6月13日	無	○
長野県 ◎	第2059002575号	2021年12月13日	2028年12月12日	無	○
岐阜県 ◎	第02150002575号	2022年3月3日	2029年3月2日	無	○
三重県 ◎	第02450002575号	2022年3月6日	2029年3月5日	無	○
千葉県 ◎	第01250002575号	2023年6月26日	2030年6月25日	無	○

第39期中に全ての自治体で優良認定を取得。

◆ 処分業

種類	自治体 (◎:優良認定)	許可番号	許可年月日	有効年月日	事業区分	産業廃棄物の種類
普通	浜松市 ◎	第06321002575号	2021年8月6日	2028年8月5日	中間処分	汚泥、廃油、廃アルカリ、 金属くず、廃プラスチック類
特別 管理	浜松市 ◎	第06371002575号	2022年4月5日	2029年4月4日	中間処分	引火性廃油

2. 産業廃棄物処理施設等の状況

◆ 収集運搬車両の種類と台数

タンクローリー(2kL).....1台	平ボディ車....6台
タンクローリー(4~6kL) 23台	吸引車5台
タンクローリー(8kL超).....9台	<u>計44台</u>

◆ 積替保管施設（山梨営業所）の面積と保管上限量

面積：106.83 m²

廃油.....64.0m³ 引火性廃油...21.0 m³ 廃プラスチック類...13.0 m³

廃アルカリ...19.0 m³ 汚泥.....13.0 m³ 金属くず.....13.0 m³

◆ 処理施設の種類、能力および処理する産廃の種類

<普通産業廃棄物>

油水分離①(遠心分離)	305 kL/日	廃油、汚泥
油水分離②(遠心分離)	154 kL/日	廃油、汚泥
油水分離(重力中和)	60 kL/日	廃油、汚泥
蒸発濃縮	360 kL/日	廃油、廃アルカリ
混合	352 kL/日	廃油、廃アルカリ
ろ過	19.2 kL/日	廃油
切断・圧縮	3.8 t/日	金属くず、廃プラスチック類
脱水	35 kL/日	廃油、汚泥

<特別管理産業廃棄物>

油水分離①(遠心分離)	305 kL/日	引火性廃油
油水分離②(遠心分離)	154 kL/日	引火性廃油
油水分離(重力中和)	60 kL/日	引火性廃油
混合	352 kL/日	引火性廃油

3. 産業廃棄物処理の料金

サンプル分析や排出工程の調査、SDS、WDS等により検討し決定する。

4. 処理方式及び処理工程



3. 事業における課題とチャンス

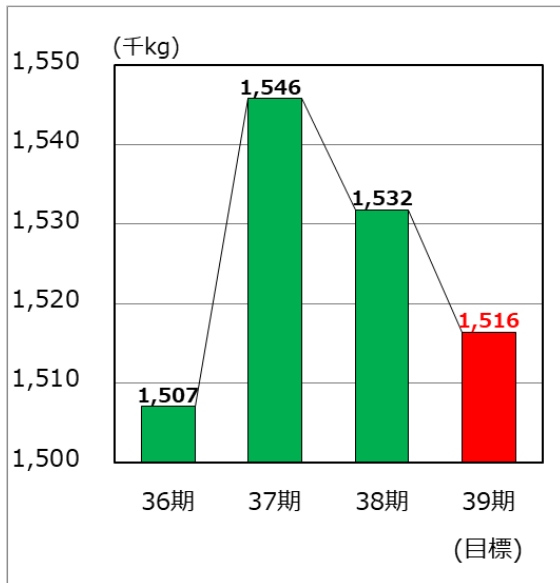
	事業における課題 (事業上の弱み、問題点等)	事業におけるチャンス (事業場の強み、有利な点等)
社内	<ul style="list-style-type: none"> ・人材に対する適切で継続的な教育 ・緊急事態への対処 ・自社のカーボンニュートラル推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経験と実績で積み上げてきた地域に根付いた信頼 ・技術や知見を集積させた従業員の力 ・廃油再生に対応した設備・資産
社外	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル業界の前提（物質循環の環が途切れない、発生先と処理後の受入先のバランス崩壊が無いこと） ・カーボンニュートラルの動き 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンスタンド、自動車整備工場、一般製造業等、定期的に廃油が発生する堅実な市場 ・廃油リサイクルに対する地域産業の期待 ・カーボンニュートラルの動き

重点目標

事業における課題であり、チャンスでもある「カーボンニュートラルの推進」に重点を置く。特に下記2項目の削減を目指して活動に取り組む。

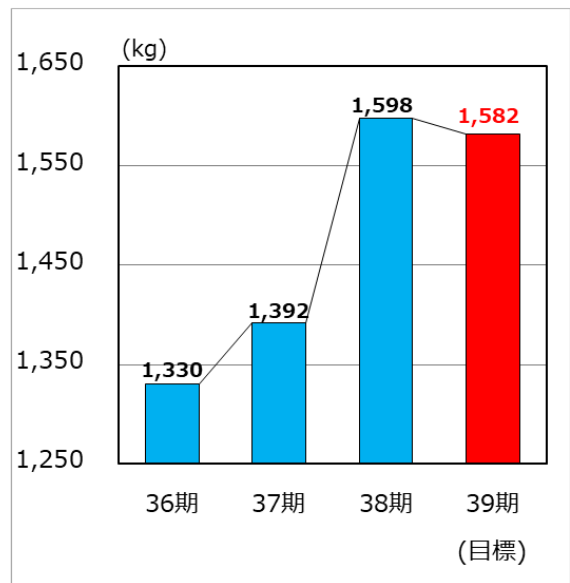
<二酸化炭素排出量の削減>

38期比 99%



<一般廃棄物排出量の削減>

38期比 99%



4. 環境経営方針

<基本理念>

1. 当社は「廃油リサイクルの専門家」として、廃油のリサイクル、産業廃棄物の処理、油関連設備等のメンテナンスの事業活動を通じて地球の環境保全に貢献する。
2. 自らの事業においても環境との調和、自然との共生に配慮し、すべての部署で環境の保全・向上に対して積極的・継続的な活動を展開する。
3. エコアクション21ガイドライン（業種別ガイドライン）に基づいた環境経営システムを構築、運用、維持する。

<行動指針>

1. 廃油のリサイクルシステムの普及、改善、安定化に継続的に努力する。
2. 環境関連の法律、規制、我々が同意するその他の要求事項を遵守する。なかでも廃棄物処理法には最大の注意をする。
3. 自他の環境事故、特に火災、漏油に対して、予防対策、事故処理訓練を実施する。
4. 省エネルギー、省資源、環境保全を全ての活動範囲で取り組む。特に収集運搬車両のエコドライブ、燃費削減、排気ガスの削減に心がける。
5. 地球温暖化ガスの発生抑制に努める。
6. 周辺環境、地域社会との共存に努力する。
7. 環境教育、情報の収集等により、見識を高め、全社員が環境経営方針をはじめ環境経営目標、環境経営計画を理解したうえで行動に落とし込む。
8. 職場の作業環境の向上、具体的には、安全衛生面、平易化、効率化、見える化に努力する。
9. 当社より排出する廃棄物の削減に努力する。
10. これらに基づいて環境経営目標、環境経営計画を定め、定期的に見直し、環境経営の継続的改善に努める。



制定日 2005年3月5日

最終改定日 2023年9月1日

天星製油株式会社

代表取締役 鈴木宏政

5. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果・評価

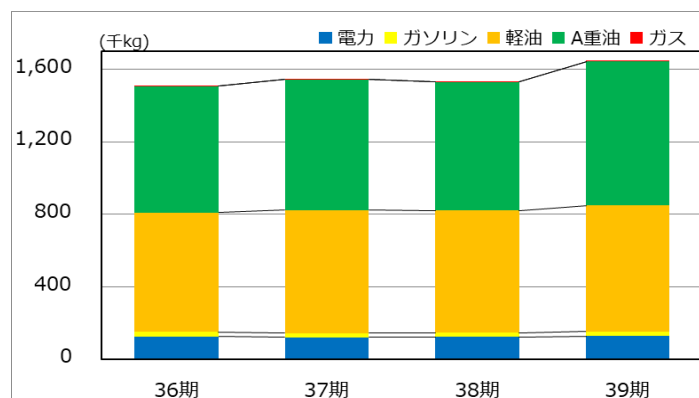
1. 環境負荷の実績

項目 (単位)		36期	37期	38期	39期		
		2019年11月～ 2020年10月	2020年11月～ 2021年10月	2021年11月～ 2022年10月	2022年11月～ 2023年10月	中期比 (36期)	短期比 (38期)
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	電力計	127,062	121,340	123,891	130,098	+2.4%	+5.0%
	電力(本社)	126,268	120,521	123,130	129,324	+2.4%	+5.0%
	電力(山梨営業所)	793	819	761	774	-2.4%	+1.7%
	ガソリン	24,335	23,843	22,618	23,608	-3.0%	+4.4%
	軽油	659,359	678,998	675,368	695,177	+5.4%	+2.9%
	A重油	696,199	721,510	709,749	794,239	+14.1%	+11.9%
	液化石油ガス(LPG)	87	103	125	106	+22.1%	-14.9%
	合計	1,507,042	1,545,794	1,531,752	1,643,227	+9.0%	+7.3%
受託、または受領した産業廃棄物、再生資源等の処理量 (t)	収集運搬量	6,484	6,723	6,775	6,992	+7.8%	+3.2%
	中間処理量	6,474	6,709	6,680	7,011	+8.3%	+5.0%
	うち再資源化等量	6,280	6,609	6,605	6,932	+10.4%	+5.0%
	最終処分量	0	0	0	0	-	-
	中間処理後の処分量	7,225	7,610	7,682	8,032	+11.2%	+4.6%
	最終処分量等	0	0	0	0	-	-
	中間処理量等	7,225	7,610	7,682	8,032	+11.2%	+4.6%
一般廃棄物総排出量 (kg)		1,330	1,392	1,598	1,707	+28.4%	+6.8%
産業廃棄物総排出量 (kg)		2,323,260	2,483,710	2,592,885	2,713,565	+16.8%	+4.7%
	中間処理量	2,323,260	2,483,710	2,592,885	2,713,565	+16.8%	+4.7%
	うち再資源化量	74,010	90,420	89,890	94,690	+27.9%	+5.3%
水使用量 (m ³)	上水	363	446	390	453	+24.9%	+16.2%
	地下水	12,750	11,995	12,284	11,356	-10.9%	-7.6%
化学物質使用量(kg)	メチルナフタレン	15.8	16.4	16.1	18.1	+14.3%	+12.1%

※電力の二酸化炭素調整後排出係数は下記を使用。

本社0.388kg-CO₂/kWh (中部電力ミライズ、2021年度実績)

山梨営業所.....0.452kg-CO₂/kWh (ENEOS でんき、2021年度実績)



2. 環境経営目標の実績

環境経営目標項目		単位	36期	37期	38期	39期 2022年11月～2023年10月				
			2019年11月～ 2020年10月	2020年11月～ 2021年10月	2021年11月～ 2022年10月	実績値	中期		短期	
			基準値	実績値	実績値		目標値	36期比	目標値	38期比
二酸化炭素 排出量の 削減	二酸化炭素排出量	kg -CO ₂	1,507,042	1,545,794	1,531,752	1,643,227	1,507,042	+9.0%	1,516,434	+8.4%
	タンク車(営1・山梨) 輸送量あたり燃費	集荷L /L	180.8	175.9	183.4	193.6	186.2	+4.0%	187.0	+3.5%
	タンク車(営2) 距離あたり燃費	km/L	5.26	5.11	5.00	5.11	5.26	-2.8%	5.00	+2.3%
	平ボディ車(営2) 距離あたり燃費	km/L	7.15	7.27	7.17	6.84	7.15	-4.3%	7.17	-4.7%
	ガソリン車 距離あたり燃費	km/L	14.3	14.1	14.0	15.0	14.3	+4.9%	14.2	+5.5%
	大型ローリー 距離あたり燃費	km/L	3.86	3.90	3.88	3.98	3.86	+3.2%	3.88	+2.6%
	ダンパー車 デジタコの点数	点	96.8	96.7	96.8	96.9	97.0	-0.1%	97.0	-0.1%
	処理量あたり A重油使用量	L/kL	12.8	12.5	12.0	12.9	12.8	+1.1%	12.0	+7.9%
	処理量あたり 高圧電気使用量	kwh /kL	16.2	14.6	14.5	14.7	16.2	-9.1%	14.5	+1.2%
	電灯・エアコン 使用量	kwh	4,917	5,082	4,810	5,489	4,917	+11.6%	4,762	+15.3%
業務を 通した 環境面での 社会貢献	廃油+廃棄物 集荷量	kL	19,844	20,697	20,475	21,107	21,829	-3.3%	20,885	+1.1%
	再生重油生産効率の 向上	kL/h	5.26	5.97	6.61	6.67	5.79	+15.3%	6.61	+0.9%
	廃油水処理効率の向 上	kL/h	1.11	1.05	0.98	1.04	1.16	-10.6%	1.01	+2.8%
水使用量の 削減	水道水使用量	m ³	362.7	446.3	389.9	453.3	362.7	+25.0%	389.9	+16.3%
	地下水使用量	m ³	12,750	11,995	12,284	11,356	12,750	-10.9%	12,284	-7.6%
	稼働時間あたり地下 水使用量	m ³ /h	2.95	2.60	2.50	2.14	2.95	-27.2%	2.50	-14.1%
廃棄物 排出量の 削減	コピー紙使用量	kg	338.6	322.1	310.4	303.7	338.6	-10.3%	307.3	-1.2%
	一般廃棄物量	kg	1,329.8	1,391.5	1,598.2	1,707.3	1,329.8	+28.4%	1,582.2	+7.9%
	産業廃棄物量	kg	2,323,260	2,483,710	2,592,885	2,713,565	2,323,260	+16.8%	2,592,885	+4.7%
化学物質使用 量の削減	処理量あたりメチル ナフタレン量	kg/L	12.8	12.5	12.0	12.9	12.8	+1.1%	12.0	+7.9%
教育	各課でP D C Aを回す				実施					
法令順守	違反なし				実施					
地域共生	地域貢献				実施					
見える化、平易化	各課でP D C Aを回す				実施					

3. 環境経営計画の取組結果・評価

<二酸化炭素排出量の削減>

環境経営目標項目	取組内容	計画	担当	具体的な活動・取組内容	評価	
					中期	短期
二酸化炭素排出量	企業活動全体での二酸化炭素排出量削減	通年	全課	節電プログラムへの参加、電力逼迫時の節電協力依頼	×	×
タンク車輸送量あたり燃費	車両毎にデータ取り・発表 安全運転・エコドライブに努める	通年	営1・山梨	エコドライブ徹底、ふんわりアクセル実施	○	○
タンク車距離あたり燃費	車両毎にデータ取り・発表 安全運転・エコドライブに努める	通年	営2	デジタコのデータ確認、エコ運転の心掛け	×	○
平ボディ車距離あたり燃費					×	×
ガソリン車距離あたり燃費	車両毎にデータ取り・発表 安全運転・エコドライブに努める	通年	営1・営2 山梨 エコメン	エコドライブ徹底、アイドリングストップ、月間走行距離と給油数量のダブルチェック、オートクルーズ機能活用	○	○
大型ローリー距離あたり燃費	車両毎にデータ取り・発表 安全運転・エコドライブに努める	通年	配送G	デジタコ点数 98 点以上を目標とした運転	○	○
ダンパー車デジタコの点数	人・車両毎にデータ取り 安全運転・エコドライブに努める	通年	エコメン	速度オーバーに注意した運転	×	×
処理量あたりA重油使用量	蒸発濃縮装置・加熱タンクの効率向上	通年	精製課	ガスケットの材質変更、加熱タンクの清掃	×	×
処理量あたり 高圧電気使用量	2HC 生産効率・脱水処理 効率の向上、恒温槽の稼働 時間調整	通年	精製課	バルブ調整、流量堰調整、恒温槽を使用しない場合は電源を切る	○	×
電灯・エアコン使用量	必要最小限での使用に努める	通年 夏季 冬季	事務・山梨 エコメン	エアコン設定温度管理、扇風機・サーキュレーター併用、使用しない電灯をこまめに切る	×	×

残念ながら全体の二酸化炭素排出量は短期（38期比）・中期（36期比）共に目標を達成できなかったが、タンクローリーやガソリン車（営業車）は車両入替の効果が少しずつ始めている。また、増加する処理量に対してA重油は中期比+1.1%、高圧電気は中期比-9.1%と抑える事が出来ており、日頃の改善活動の成果が発揮されている。

<業務を通じた環境面での社会貢献>

環境経営目標項目	取組内容	計画	担当	具体的な活動・取組内容	評価	
					中期	短期
廃油+廃棄物集荷量	営業力・作業効率の向上 方法の検討・実施	通年	営1・営2 ・山梨(※)	新規開拓、商社・既存客に顧客紹介依頼、既存客の営業品目増加	×	○
再生重油生産効率の向上	2H Cライン効率向上	通年	精製課	バルブの開閉調節等	○	○
廃油水処理効率の向上	蒸発濃縮装置効率向上	通年	精製課	ガasket材質変更、プレートの洗浄回数増、真空ポンプ交換	×	○

※平ボディグループ除く

全項目で短期目標を達成できた。日頃の地道な営業活動や効率化・改善活動が結果に繋がっている。

<水使用量の削減>

環境経営目標項目	取組内容	計画	担当	具体的な活動・取組内容	評価	
					中期	短期
水道水使用量	必要最小限での使用に努める	通年	全課	手洗い時は使用量を必要最小限にする、出しっぱなしにしない、こまめに蛇口を閉める	×	×
地下水使用量	必要最小限での使用に努める	通年	全課(※)	洗車時の使用量を必要最小限にする、水使用量を決めて洗車する	○	○
稼働時間あたり地下水使用量	設備・処理方法・作業方法等の改善	通年	精製課	水使用設備の点検	○	○

※山梨営業所・事務課除く

水道水（上水）は残念ながら短期・中期共に目標未達成となってしまった。仕事量の増加や酷暑等の影響で、洗車や洗濯回数が増加した事が原因と考えられる。地下水については、使用量が不自然に増えた際は精製課がすぐ点検・修理を実施してくれたおかげで削減できた。

<廃棄物排出量の削減>

環境経営目標項目	取組内容	計画	担当	具体的な活動・取組内容	評価	
					中期	短期
コピー紙使用量	紙使用量削減	通年	全課 (※)	社内 SNS の活用、会議等でのペーパーレス化	○	○
一般廃棄物量	分別の徹底 (参考値：リサイクル率[%])	通年	全課 (※)	社外からゴミを持ち込まない、持ち帰りゴミの削減、手拭きタオル持参によるペーパータオル使用量削減	×	×
産業廃棄物量	資材の節制 処理後廃棄物の削減・活用法 検討・実施	通年	全課	使用場面に合わせたウエスの大きさを調整、特定の業務専用ウエスを用意し繰り返し使用、処分時は絞ってから廃棄	×	×

※山梨営業所除く

一般廃棄物は、人員増加、事務所2階・南武事務所の稼働準備に伴う片付け等の影響で、特に可燃ごみの排出量が短期比+7.9%増加となってしまった。産業廃棄物は、集荷量・作業量の増加が反映されている為やむを得ない。

<化学物質使用量の削減>

環境経営目標項目	取組内容	計画	担当	具体的な活動・取組内容	評価	
					中期	短期
処理量あたりメチルナフタレン量	設備・処理方法・作業方法等の改善（A重油の項目に準ずる）	通年	精製課	(A重油の項目に準ずる)	×	×

※<二酸化炭素排出量の削減>の項目参照

<教育、法令順守、地域共生、見える化・平易化>

環境経営目標項目	取組内容	計画	担当	具体的な活動・取組内容	評価	
					中期	短期
教育	業務に関わる教育（安全・法令・環境等）を行う	通年	全課	作業手順統一、課内勉強会、客先の環境事故防止教育受講	○	○
法令順守	法令・環境保全協定の履行改正の確認	通年	全課	不定期顧客は回収前に契約情報確認、定量積み厳守、課内勉強会	○	○
地域共生	地域に対する貢献活動を行う	通年	全課	花壇作り、地域清掃・除草	○	○
見える化、平易化	設備・手順の表示・工程の見直し・文書の整理等	通年	全課	作業マニュアル作成・改定、社内 SNS での情報共有、備品の在庫数量明示	○	○

4. 教育・訓練実績

- ◆ 漏油訓練…………… 1月、5月、10月
 - ◆ 防災BCP訓練…………… 12月、4月、9月
 - ◆ 交通安全KYT訓練…………… 1月、7月、10月
 - ◆ 法改正講習…………… 7月
 - ◆ 避難訓練…………… 毎月
 - ◆ 緊急連絡訓練…………… 11月、4月
 - ◆ 年間活動総括(全体会議) …… 11月
 - ◆ 外部研修(オンライン含む) …… 35件参加
- 各委員会活動、社内・外部研修共に実施できた。



5. 規定の改善

エコアクション2.1マニュアル及び環境経営方針の改訂を実施した。

6. その他

- ◆ 住民説明会実施
- ◆ お客様アンケート実施
- ◆ 従業員アンケート実施
- ◆ 森とアースへのECO-プロジェクト賛同
- ◆ ふじのくに森の町内会賛同
- ◆ 天星Magazine発行(年4回)
- ◆ はまはっぴー様 備蓄食料等寄贈
- ◆ 浜松レスリングクラブSSFC様 活動支援
- ◆ 紙容器回収事業協力
- ◆ ムンド・デ・アレグリア様 職場体験
- ◆ 鹿玉協働センター様 子どもふるさと学級事業所見学会
- ◆ 夏休み親子施設見学会
- ◆ 静岡理工科大学様「実践技術者講座」講演
- ◆ 本社事務所レイアウト変更
- ◆ 南武事務所稼働



6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

名称	内容	評価
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正保管、委託処理	○
	運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守(契約書締結)	○
	マニフェストの交付、保管、返却及び交付状況の報告	○
	産業廃棄物収集運搬業又は処分業の許可、変更	○
	産業廃棄物処理基準の順守	○
	特別管理産業廃棄物の収集運搬業又は処分業の許可、変更	○
	産業廃棄物処理施設設置の許可	○
	不法投棄の禁止	○
浜松市産業廃棄物の適正処理に関する条例	事業者、産業廃棄物処理業者の責務	○
	県外産業廃棄物処分協議の状況の確認	○
	産業廃棄物処理状況の報告等	○
大気汚染防止法	施設設置の届出、ばい煙の排出の制限、記録義務	○
水質汚濁防止法	施設設置の届出、排出水の排出の制限、測定・記録及び保存	○
騒音規制法	規制基準値の遵守、施設設置の届出	○
静岡県生活環境保全等に関する条例	騒音基準の遵守義務、特定施設設置の届出	○
消防法	貯蔵・取扱い及び運搬に関する基準・事故の措置等、設置許可	○
浄化槽法	保守点検・清掃、水質検査	○
P R T R 法	化学物質の排出量、移動量の届出	○
労働安全衛生法	一定の建築物・機械等の計画に関する届出	○
環境保全協定	住民との協定内容を測定、報告	○
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	○
	第1種フロン類充てん回収業者への委託	○
	第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	○
	フロン類の放出の禁止	○
資源有効利用促進法	パソコン等のリサイクル	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の引渡義務、引き取り業者への引き渡し	○

※評価→○：遵守、△：検討中、×：不遵守

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘及び利害関係者からの訴訟は、過去3年間無し。

3. その他

◆ 立入件数

全4回（浜松市産業廃棄物対策課）

◆ 環境コミュニケーション

下善自治会との企業連絡会及び近隣向けの環境アンケートの結果、環境保全協定上の問題及び苦情等は無かった。

7. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1. 環境計画目標及び環境経営計画

環境経営目標項目		担当	中期目標 36期比	短期目標 39期比	取組内容	計画
二酸化炭素 排出量の 削減	二酸化炭素排出量	全課	105%以下	100%以下	企業活動全体での二酸化炭素排出量削減	通年
	タンク車(営1・山梨) 輸送量あたり燃費	営1・山梨	105%以上	102%以上	車両毎にデータ取り・発表、安全運転・エコドライブに努める	通年
	タンク車(営2) 距離あたり燃費	営2	100%以上	101%以上	車両毎にデータ取り・発表、安全運転・エコドライブに努める	通年
	平ボディ車 距離あたり燃費	営2	100%以上	101%以上	車両毎にデータ取り・発表、安全運転・エコドライブに努める	通年
	ガソリン車 距離あたり燃費	営1・営2・山梨 ・エコメン	105%以上	102%以上	車両毎にデータ取り・発表、安全運転・エコドライブに努める	通年
	大型ローリー 距離あたり燃費	配送Gr	102%以上	101%以上	車両毎にデータ取り・発表、安全運転・エコドライブに努める	通年
	ダンパー車 デジタコの点数	エコメン	97点以上	97点以上	人・車両毎にデータ取り、安全運転・エコドライブに努める	通年
	処理量あたり A重油使用量	精製課 (※1)	100%以下	100%以下	設備・処理方法・作業方法等の改善	通年
	処理量あたり 高圧電気使用量	精製課 (※1)	100%以下	100%以下	設備・処理方法・作業方法等の改善	通年
	電灯・エアコン 電力使用量	全課	97%以下	100%以下	必要最小限での使用に努める	通年 夏季・冬季
	業務を通した 環境面での 社会貢献	廃油＋廃棄物 集荷量	営1・営2・山梨 (※2)	105%以上	103%以上	営業力・作業効率の向上方法の検討・実施
再生重油生産効率の 向上		精製課 (※1)	110%以上	102%以上	設備・処理方法・作業方法等の改善	通年
廃油水処理効率の向 上		精製課 (※1)	100%以上	103%以上	設備・処理方法・作業方法等の改善	通年
水使用量の 削減	水道水使用量	全課	110%以下	100%以下	必要最小限での使用に努める	通年
	地下水使用量	全課 (※3)	100%以下	100%以下	必要最小限での使用に努める	通年
	稼働時間あたり地下 水使用量	精製課 (※1)	100%以下	100%以下	設備・処理方法・作業方法等の改善	通年
廃棄物 排出量の 削減	一般廃棄物量	全課 (※4)	110%以下	100%以下	紙使用量削減、分別徹底、リサイクル率向上	通年
	産業廃棄物量	全課	110%以下	100%以下	資材節制、処理後廃棄物の削減	通年
化学物質使用量 の削減	処理量あたりメチルナ フタレン量	精製課 (※1)	100%以下	100%以下	設備・処理方法・作業方法等の改善(A重油の項目に準ずる)	通年
教育	全課	各課でPDCAを回す		業務に関わる教育(安全・法令・環境等)を行う	通年	
法令順守	全課	違反なし		法令・環境保全協定の履行改正の確認	通年	
地域共生	全課	地域貢献		地域に対する貢献活動を行う	通年	
見える化、平易化	全課	各課でPDCAを回す		設備・手順の表示・工程の見直し・文書の整理等	通年	

※1: 配送Gr除く、2: 平ボディGr除く、3: 山梨営業所・事務課除く、4: 山梨営業所除く

39 期後半から南武事務所及び本社 2 階事務所が稼働した為、40 期はそれらを考慮した上で、36 期を基準とした中期目標及び 39 期を基準とした短期目標を設定した。なお、41 期以降は 40 期の実績値を中期目標の基準とする。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

目標に対する達成未達成はともかくとして、全体的に計画通り実行できている。中期比において、37期～39期は、コロナ禍、ウクライナ侵攻の影響も考慮して結果を考察しなければならない。

エコアクション2.1を導入して年月が経つが、形式をなぞるだけでなく、文化としてなじませていくのが、継続的な課題だと思う。また、地球温暖化・少子高齢化という状況にも対応して変化していかなければならない。今後の方針については基本的には従来方針を踏襲するが、前述の点を意識して教育研修により力を入れ、環境に関する当社への期待に応えていきたい。

活動全体の方針に「経営」の概念が加わった。環境マネジメント＝経営なのだから言うまでもないことであるが、大上段に構えるのではなく、取り組めるところから地道に活動すれば道は開ける。自然体でよいと思う。

2023年11月28日

天星製油株式会社

代表取締役 鈴木宏政